

## 動物看護師に必要な麻酔モニタリングスキル

酪農学園大学 獣医学群 獣医保健看護学類 動物集中管理研究室  
酪農学園大学 附属動物医療センター 麻酔科 / 集中治療科  
准教授 佐野 忠士

### はじめに

動物の麻酔管理において麻酔モニタリングは非常に重要な業務である。麻酔モニタリングの方法は様々なものがあると思われるが、我々は日本獣医麻酔外科学会 麻酔疼痛管理専門委員会（作成当時；麻酔疼痛管理専門部会）作成の「犬および猫の臨床例に安全な全身麻酔を行うためのモニタリング指針」を基準として麻酔モニタリングを行うようにしている。今回は、この指針の内容を軸とし動物看護師である皆さんが「知っておくべき（知っておくと役に立つであろう）スキル」について概説しようと思う。

### なぜ麻酔モニタリングが必要なのか？

麻酔モニタリングの目的は「安全な麻酔状態に動物が置かれていることを確認すること」である。では「安全な麻酔状態」とはどのような状態を指すのであろうか？この答えはいくつも考えられるが、しっかりと動物が麻酔状態にあり、なおかつ麻酔状態の動物の命の状態がしっかりと保たれていることと考えるのがシンプルであろう。この異なる2つの「しっかりと麻酔状態にある」「しっかりと生きている」をモニタリングにより確認するのである。

### どのような方法で麻酔モニタリングを行うか？

麻酔モニタリングは上述のモニタリング指針に記載されている方法に準じて行うのが良い。我々の5感と麻酔モニタリング装置を駆使して麻酔状態にある動物の様子を連続的に看視する。麻酔深度を客観的に評価することは困難であるが、眼瞼反射の有無などから推察し、それと合わせてモニタリング装置の示す数値を理解することが重要である。モニタリング指針にも記載があるが、動物看護師として必要となる麻酔モニタリングのスキルとは、麻酔に関連する全ての情報を麻酔記録に記載し、異常を発見した場合には麻酔担当の獣医師へ警告できる様にするということである。